

週刊

こびと



©'23 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L541986

NIE  
きょういく  
教育に  
じゅうがん  
新聞を

4

小学1・2年生向け

## ここがわたしのねるところ

一せかいのおやすみなさい

レベルカ・ボンド文 サリー・メイバー作画 まつむらゆりこ訳

世界の子どもたちはどんな所で寝ていると思いますか？皆さんと同じように、ベッドや畳の上の布団でしょうか？オランダの寝る所は、「みずにはやられてたふたふと」。オランダには川や運河に浮かぶ屋形船の家があります。家が波に揺られると、ベッドも優しく揺られて気持ち良さそうです。西アフリカのガーナの子どもたちは、雨の降らない季節になると家の外でお昼寝をします。川辺の草を編んで作った敷物の上で、心地よさそうに寝転んでいます。その他に、ペチカという大きな暖炉や広々とした草原など、文化や気候により寝る所はさまざまです。世界各地の寝る所を紹介する、フェルトと刺しゅうで表現した温かみのある絵本です。（福音館書店 1430円）



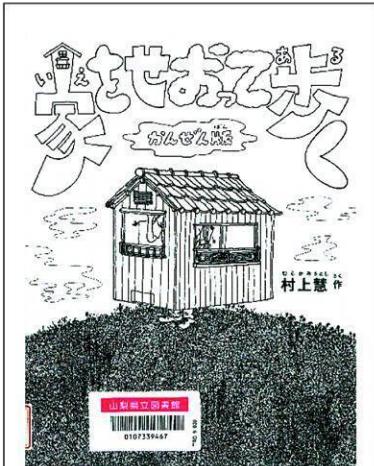
小学3・4年生向け

## いえある 家をせおって歩く

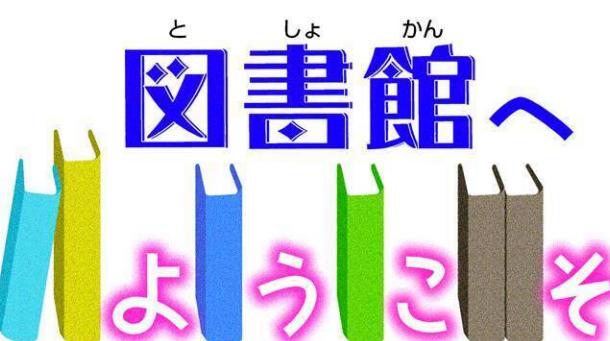
むらかみさとしき  
村上慧作

作者の村上慧さんは、発泡スチロールで自分の家を作りています。軽トラックの荷台に乗るほど小さな家ですが、郵便受けもドアも窓もあります。そして驚くことに、この家は持ち運ぶことができるのです。村上さんは、合計25キロにもなる家とリュックを背負って日本各地や海外を歩き、移動しながら暮らしています。公園や道

路に勝手に家を置くことはできないので、土地を貸してくれる人を探します。「見つからなかったらどうしよう」という不安と、「どんな人なのかな。どんな場所で寝ることになるのかな」という期待で胸がときどきします。村上さんがどんな場所へ行き、どんな家を作り、どんな人と出会ったのかを、写真と絵で紹介しています。



（福音館書店 1540円）

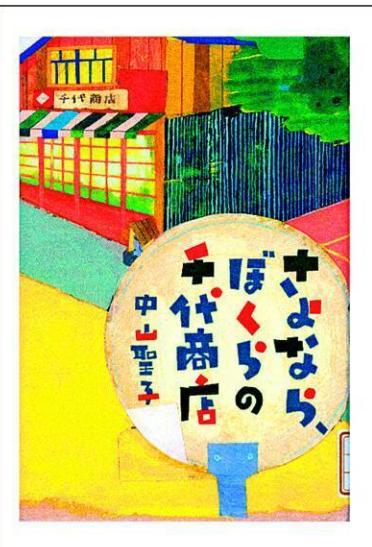


小学5・6年生向け

## さよなら、ぼくらの千代商店

なかやませいごさく  
中山聖子作

小学5年生の翔也は、最近友だちとお泊まり会を楽しんでいます。次は翔也の家の番ですが、病気で倒れてから体が不自由になった母さんに負担がかかることを考えると、友だちを家に呼ぼうという気持ちになれません。母さんのことを「かわいそう」と言われるのも嫌でした。校外学習の日、お泊まり会の話題になるのを避けるために1人でいると、坊主頭の男の子が現れて水色のバスに案内されました。乗ったバスが到着したのは、小さい頃によくお菓子を買った千代商店です。店では、千代ばあちゃんが「翔也君、よう来たねえ」と笑顔で出迎えてくれて……。4人の小学生が、千代商店で悩みを解決するヒントを見つけるまでを描く短編集です。（岩崎書店 1540円）

こころづよじぶんいばしょ  
心強い自分の「居場所」

家や学校、よく行くお店など、お気に入りの場所はありますか？自分なりの「居場所」があると心強いものです。安心できる場所や新しい発見がある場所など、いろいろな居場所が登場する本を紹介します。

（山梨県立図書館 後藤麻友）

=毎月第2週に掲載します

中学生向け

ほけんしきついゆ  
保健室経由、かねやま本館。まつもと ちよ  
松素めぐり著 おとないちあき装画・挿画

明るい性格のまえみは、みんなから「サーマ」と呼ばれ、小学校では常に人気者でした。卒業と同時に新潟県を離れることになり、東京で「夢の中学生ライフ」が始まりました。順調に思えた新生活ですが、ある日、なかよしグループの女子たちから「サーマって、しんどい」と言われて仲間外れにされてしまいます。家では不登校の兄に両親がかかりきりなので、サーマは両親に心配をかけないよう、意を決して登校したものの、教室で具合が悪くなってしまいます。サーマが保健室に向かうと、目の前に「第二保健室」が現れました。そこで山姥のような養護教諭のかねやませいせい先生から、中学生専門の湯治場に案内されたのです。サーマが温泉に入ってみると……。



（講談社 1540円）